

<英文法超基礎④7> Lv.★★☆☆☆ 対象: 中2・3~

① 受動態とは

I clean this room. 「私はこの部屋を掃除する」
S V O

この文は「SがOをする」という形になっていて、「**する側**」に視点が置かれている。
この表現スタイルを(1.)と呼ぶ。

This room is cleaned. 「この部屋は掃除される」
S V

この文は「SがVされる」という形になっていて、「**される側**」に視点が置かれている。
この表現スタイルを(2.)といい、(3.)で表す。

② 過去分詞について

動詞には(4.)・(5.)・(6.)・(7.)・(8.)
という5つの形がある。②で**過去分詞形[Vp.p.]**について紹介だけしています!
変化のパターンの一例をあげます。(覚えておかなければならないモノは②に全部載せています!)

変化パターン	原形	過去形	過去分詞形	変化パターンの説明
AAA型	cut (切る)	cut	(9.)	原形・過去形・過去分詞が全部同じ
ABB型	buy (買う)	bought	(10.)	過去形・過去分詞が同じ
ABA型	come (来る)	came	(11.)	原形と過去分詞が同じ
ABC型	know (知る)	knew	(12.)	原形・過去形・過去分詞が全部ちがう

③ 受動態の作り方

[能動態] I saw him in the station. 「私は彼を駅で見た」

① (13.)を文の主語にする。← 今回の例だと(14.)を(15.)にする。

② Vを(16.)にする。← He (17.) in the station.

③ S(する側)を示したいときは、(18.)を使う。

↑ He was seen by me in the station. 「彼は私に駅で見られた」

☆ 受動態のポイント

- ・後ろにOが来れる(19.)でないと作れない!
- ・Vのあとの(20.)が1つ少なくなる!(大事!)

4 byは常にいるのか?

受動態は「be動詞 + Vp.p. + by～」の形が多いが、流れ的に「21.」をわざわざ言う必要がないときは byは必要ない!

(X) English is spoken by people in that country.

「英語はその国で人々によって話されている」

→ 英語が「人々」によって話されるのは **アタリマエ** なのでわざわざ言う必要はない!

(O) English is spoken in that country.

5 by以外の前置詞を使う受動態

• (22.) : 「23.」

Her name is known to everyone in her school.

「彼女の名前は学校の人に知られている」

• (24.) : 「25.」

The ground was covered with snow. 「地面は雪でおおわれていた」

• (26.) : 「27.」



The room was filled with young people. 「その部屋は若者でいっぱいだった」



• (28.) : 「29.」

This desk is made of wood. 「この机は木でできている」

• (30.) : 「31.」

Paper is made from wood. 「紙は木から作られる」

※ of → パッと見て何でできてるかわかる!  →  木でできてる。わかる!

from → パッと見て何でできてるかわからない!  →  パッと見て木、わかん!

↑ イメージは「キョリ」→ 見た目が「離れている」ことを表す